

# おれんじニュース

No.370

2021年3月

## CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
琴ノ尾岳	5
多良岳	6
菅瀬大杉	7
グレート・ヒマラヤ	8
おれんじカレンダー	12

春の息吹

3月の会議はコロナ拡大の為中止

2021年	3月	4月	時間	場所
専門部会		13(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会		28(水)	19:00~21:00	公民館

3月



## 月例山行案内

部	技術研修部	山行部	ひまわり部	自然保護部
月/日(曜)				
山名(行事)				
地 区				
集合場所	新型コロナウイルス感染拡大の為 3月の例会山行は中止します			
難 易 度				
帰着時間				
歩行時間				
交通手段				
宿泊施設				
温 泉				
参 加 費				
申込期限				
集 約				
備 考				

4月

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	4/4(日)	4/18(日)	4/25(日)	4/30(金)
山名(行事)	岩屋山～稲佐山	国見山～八天岳	目丸山	猿葉山
地 区	長崎西北部	蔵 宿	畝 野	愛 野
集合場所	西諫早駅 JR7:23 発 (7:10 集合厳守)	諫早駅西口 7:20 西 諫 早 駅 7:30	諫早駅西口 6:20 西 諫 早 駅 6:30	諫早駅西口 9:20 西 諫 早 駅 9:00
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	16:00	17:00	19:00	14:00
歩行時間	6.0h	5.0h	4.0h	2.0h
交通手段	JR & バス	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	無し	なし	なし	無し
温 泉	無し	なし	なし	無し
参 加 費	実費(約 2,000)	5,000	5000	700
申込期限	3/27	4/10	4/18	4/26
集 約	中野	田村	山下ちづこ	田中
備 考	長崎名山の岩屋山から 稲佐山を縦走。	県北最高峰の国見山 をめざし、なだらかな 高原台地を歩く。	春の花、カタクリ、山シ ャクヤク等を見に行き ましょう。	1300本の鳥居が並ぶ 猿葉稲荷と山頂からの 展望。

## 事務局より

### ◇ 春の息吹を感じるこの頃・・・

コロナ禍の中、自然の営みは確実に時を進めています。皆さんもあせらずにこの窮屈な時期を乗り越えましょう。春はすぐそこに・・・



1/11 雲仙の霧氷



1/31 雲仙霧氷沢



2/1 K・S 農園



2/7 黒木のマンサク

### ◇ ボルダリングに参加しませんか



1 月より毎週土曜日(コンパの日は除く)の午後から川床町の施設でボルダリングを始めました。岩登りの基礎技術の習得をめざしています。

場所：諫早市川床町（辰巳建設倉庫内）

参加費：200 円/人（時間無制限）

クライミングシューズあれば持参して下さい。

教材あり、時々経験者が来場しており、丁寧に指導してくれます。

### ◇ コンパニオンレスキューの CD

2009 年以来継続しているコンパニオンレスキューについて、ロープワークの基本から写真で分解記録したものは一度配布しておりますが、その後取り入れた新たな方法や変更した部分など盛り込んだ改訂版を CD(動画ではない)に仕上げました。

ご希望の方は事務局まで申し込み願います(無料)。

### ◇ 長崎県の山

コロナ拡大及び火曜岩ハイキングの為に、長崎県内の山をリストアップしましたのでご希望の方は事務局まで申し込み願います(無料)。

内容は離島を除く 200m以上の山ほぼ全山で、市町名別・山名・難易度・1/2.5 万地形図・登山口・特色等が分かるように作成しているので、例会山行などの選定にも役立つと思います。

まだ完ぺきではなく、各位自分流に徐々に訂正・追加し充実願います。

## 県連より

- ・山行自粛のお願い、医療関係のフェーズはまだレベル4の為 2 月末までは県外、離島の山行を自粛願います。
- ・第 56 回県連定期総会は 4 月に開催予定です。
- ・冬山登山は中止とします。

# 定期トレーニング

## コンパニオンレスキュー

実施日	1月30日				
場所	運動公園	確保訓練	引上げ	ロープハーネス	ロープタンカ
参加数	15名				

### 火曜岩ハイキング

月日	2/2 鳥甲山・琴平岳	2/9 川棚虚空蔵山	2/16 鎌倉山・水洗山
参加	13名	13名	10名
行程	9:50 シャクナゲ公園 P～10:20 登山口～11:10 摩利支天～11:30 鳥甲山-13:45 琴平階段～琴平神社	10:30 木場登山口～冒険コース～11:40 虚空蔵山 12:30～一般道～13:10 登山口-13:30 岩屋権現	10:00 登山口～10:25 鎌倉山～11:03 普賢岳～11:30 水洗山 13:24 登山口
感想	鳥甲山は適当な高さで歩行距離、岩場あり。少し寒かった。琴平岳の999階段はきつかった。	冒険コースは険しく、危険なコースであり、それだけ楽しくもあった。岩屋権現の洞窟での誓い忘れずに。	300mを超える山であるが、登山口からは60m程度のアップダウン。林間に付展望悪し。
備考	鳥甲山 	虚空蔵山(冒険コース) 	水洗山 

### 水曜登山

月日	1/27 虚空蔵山	2/3 岩屋山	2/10 十郎岳	2/17 石割山
参加	7名	7名	9名	7名
行程	9:20 高見岳登山口～高見岳～10:40 女岳～12:55 虚空蔵山～冒険コース～14:20 木場登山口	9:20 虹ヶ丘小登山口～10:30 岩屋山～12:00 舞岳～13:40 岩屋山山腹一周 14:30 虹ヶ丘小学校登山口	9:30 キリシタン墓地 P～11:10 岩屋山～11:40 十郎岳～14:30 キリシタン墓地 P	9:00 別所ダムP～10:55 石割山～13:00 大黒天～13:16 別所ダムP
感想	高見岳、女岳とも低山であるが急峻で下りに注意が必要。虚空蔵山の冒険コースも同様だった。	全行程 5 時間半結構歩いた。舞岳は急登で登りがいがあった。	岩屋山からのルートは尾根伝いに林道を越え狭い岩の尾根を歩く、十郎岳の頂上からの展望は素晴らしかった。	小雪舞う厳しい山行だった。前回登った時より山頂までが長く感じた。山頂ではミニ樹氷も見れた。
備考	冒険コース 	岩屋山 	ドンク岩・十郎岳 	石割山 

## 12/13(日) 琴ノ尾岳



琴ノ尾岳(451.4) 岡岳(403)  
仙吾岳(375.6) 丸田岳(333)  
碑ノ岳(249)

**参加者** 坂口 鎗水 松岡 豊嶋 浦  
吉川 高田 川原 福岡 工藤 福田  
乾 田村 白石 中岡(外) 森(外)



タンタン岩

**行程** 8:20 諫早駅発 JR-8:45 本川内駅~9:20 琴ノ尾岳.  
扇塚公園分岐 9:35 登山口~10:15 琴ノ尾岳. ~10:50 岡岳  
~11:30 扇塚公園(昼食)~12:00 仙吾岳登山口~12:20 仙  
吾岳 12:40 タンタン岩~13:25 丸田岳~14:00 碑ノ岳~  
比恵ノ岳神社~15:26 長与駅

**概要** 低山里山でも、組み合わせる事で変化に  
富んだ五岳を楽しむ事ができた。タンタン岩、碑  
ノ岳からの絶景とミニクライミングはとても楽  
しめた。又、初参加者、ゆっくり班全員が全行程  
を約60分早く、楽しく、安全に下山できたので  
予定より早く JR に乗車できた。  
しかし碑ノ岳から長与駅までの長い舗装道歩き  
は疲労感を増した。

ハイ、そうそう  
いいですね



仙吾岳



碑ノ岳

### ちょっと感想

- \*「長与アルプス五岳縦走」はタンタン岩の絶景、碑ノ岳ロープワークありで、とても楽しく良い訓練になりました。
- \*山々の自然を感じ、景色を堪能、楽しく歩く事が出来ました。
- \*楽しい山歩きでした。オレンジの皆さんのパワーに圧倒されました。
- \*低山であったが、丁度いい起伏とタンタン岩、碑ノ岳の岩登りもあり楽しめるコースでした。



メマツヨイグサ



ダンギク

# 2020/12/20 多良岳～一の宮岳

川原 大原 福田  
高田 福岡 金丸  
松岡 吉川 豊嶋  
中村 久保 石部  
渡辺 畔崎 乾 塚  
浦 山下チ



六体地蔵に到着

## 行程

西諫早駅 8:00＝轟の滝＝大渡橋 9:10～小松尾公園 9:15～多良林道 9:55～金泉寺 10:45～多良岳 11:10(昼食)11:45～前岳 12:15～黒木岳 12:55～一の宮岳 13:10～一の宮分岐～鬼の門 14:00～六体地蔵 14:10～金泉寺 14:30～小松尾公園 15:45～西諫早 16:30

## 登山概要

時間で6時間10分、距離8,9キロ、高低差849mを18人でよく歩いたと思う。座禅岩、鬼の岩屋、鬼の門、六体地蔵等を説明しながら歩いた。小松尾公園のやせ尾根の下りや、千年紅葉は次回の宿題となった。



一に手洗いニにマスク



つめたいよう。



## 一口感想

- \*大渡橋から小松尾公園までの沢沿いの道は夏場は涼しくて気持ちが良いが冬場は冷えこみが厳しかった。公園から金泉寺の登りと一の宮岳から六体地蔵と役の行者のコースはどちらも距離が長く足元も悪く気が抜けず疲れました。
- \*雪道の岩場歩き緊張しました。鬼の岩屋等、山頂があんなに岩ばかりとは知りませんでした。とても楽しかったです。また春の花の時期に来たいと思いました。

# 12/25(金)萱瀬大杉、仏の谷、琴平岳



参加者 福岡 高田 下釜 金丸 山口 田村  
松岡 中須賀 乾 田中 高森 林



萱瀬の大杉

## 行程

西諫早駅 9:10—萱瀬の大杉 P9:50～大名杉 10:40  
～萱瀬の大杉 P11:30—(車)—仏の谷 P11:40～仏の谷 12:20～仏の谷 P12:50  
—(車)—琴平岳 P13:10(昼食)～散策～琴平岳 P14:05 発～西諫早駅 14:30,

## 登山概要

萱瀬ダムに向かって車を走らせると、ダムの手前に萱瀬の大杉の表示が立っている。右折して狭い道を登ると二股の道に突き当たる。通行止めで車をここに置き左側を歩く。また二股の道に突き当たる。右に林道を20分ほど歩くと登山口、25分程で大名杉。樹齢240年、来た道に戻る。萱瀬ダムの近くの仏の谷へ車で移動。仏の谷は1657年に潜伏キリシタンが発覚した大事件「群崩れ」に関する場所で、当時は厳しい弾圧が行われた。仏の谷では熱心なキリシタンが絵像を祀り、ひっそりとお祈りをしていたが、村人が外部に漏らし捕らわれて406人が処罰された。琴平岳へ車で移動、一部の人は999の階段を登る。大村の町が一望できて素晴らしい。

## ちょっと感想

\*最初は「森の巨人たち」の萱瀬杉へ。  
中でも大名杉は女性が6人手を繋いでやっと囲める位の大きさに驚く。  
次は「仏の谷」へ。山道はよく整備されてロープも新しく歩き易かった。  
登り詰めると大きな岩屋がありそこで記念写真。最後は琴平岳へ。999段(桜の並木道)を必死に登り、最高の達成感に浸る。まだまだ若い!! 3か所(移動は車)をめぐるバラエティーに富んだ楽しい山行でした。

\*鉄砲を担いで猪猟をしている猟師(犬4匹)にも会いました。



# グレート・ヒマラヤ・トレイル アッパールート 1,700Km

【旅が終わり】

(山口 千絵子氏 記)

初登でも開拓でもなければ、困難な探検でもない。GHTはネパール人の、と言ったら良いのか、又はチベット人の、と言うのが正しいのか、その生活道を歩くだけの話だ。



今迄はネパールに3~4週間いると、樹林と谷々によってかたち作られる、湿度のある日本の翠滴る山々が恋しくなった。だが今回は違った。帰国後、私は山どころか日本人の生活と光景に戸惑ってしまった。強い違和感…それは、些細な事で言うと電車に乗った車内アナウンスで「リュックサックは他のお客様の御迷惑となります。膝の上か手に提げて云々」を聞いたり、「エスカレーターで歩かないで下さい」という構内放送だったり、小学校のフェ





ンスに貼ってある「歩きスマホはやめましょう」という文言から始まり、車の途切れた赤信号でたたずんでいる時間だったりもした。沢山のルールに驚き、煩わしかった。日曜日に車を、まるで宝石の様にピカピカに磨き上げている人を見た時の嘲りにも似た気持ち。クリスマスの電飾、正月の御馳走、立て続けのそれらに神性や靈性は微塵もなく、単なるレジャーとしてはしゃぐ人々やマスコミの姿が馬鹿らしく思えた。子や孫、擬人

化した犬猫を甘やかし金を使うジィさん、バァさん。老後の介護力を金で買おうとする人々。都市は、無機質で無彩色だった。空を見上げて、林立するビルの隙間から見えるのは、褪色したボロ雑巾の様な色の空だった。獣たちのにおいも香辛料の香りもなく、圧力釜の強いシューッ音どころか人々は無言で無関心で、あったとしても巧言令色。それなのに、いや、それだからか?強調される絆だとか仲間だとかの言葉に白々しさを嗅いだ。帰って来た日本には、余りにも生の実感が乏しく、日々が薄っぺらで、気分はたちまち塞ぎ込んでしまった。

Part1の旅は夢中のうち、だった。強い陰影の中で繰り返される東ネパールの人々の営み。それは簡単に言えば単なる衣食住の事どもだったにも関わらず、目の当たりにした時、私は写真を撮る事が出来なかった。通り過ぎるだけの異邦人には物珍しい光景や文物、それらは彼らにとり、余りにも必死な生活そのもので、迫力があつた。一介の旅行者が興味本位で撮るには余りに失礼だと、シャッターを押せなかった。

私は山が好きだと言ったら、チェビさんがエベレストもローツェもプモリも全部切り取って日本に持って帰れ、と言った。「そしたら平地に麦や稗を沢山作る事が出来る。そのヒエでディーロ(稗の湯練りご飯)やトンバ、チャンを一杯作るのだ」と。その言葉は、私の「山が好き」などというチャラチャラした甘っちょろさを叩き壊した。彼らにとり山は、死なない為に生きる場所なのだ。

日本人の日常はほぼスイッチ



一つで事足りる。青信号や赤信号が安全管理までしてくれる。にもかかわらず、ホームから盲人が転落して列車に轢かれて死ぬ。白杖を持っているのに、だ。安全管理に必要なのは本当にホーム・ドアなのだろうか？ 安全を信号機やシステムに委ねる事が悪いとは思わない。だが、そうやって私達は退化していく。ウンコや放射性廃棄物をはじめとした色々の汚いもの、不都合なものは日々の生活でなるべく近々と目に触れないように処理されていく。それは、快適で良い事なのだろうか？

恥をさらすと、私はチベットに関して何も知らなかった。中尾佐助、D=スネルグローヴ、ティッヒーといった人々の先蹤を教えてくれたのは重藤さんだった。帰国後、山の図書館でそれらを読み、チェビさん達ポテ族の言動が今更ながらに解明した事が沢山あった。

旅の前に知っていたらどれ程良かったらう。

そして当然の事ながら“チベット動乱”に行き当たった。私がダライ=ラマ 14 世について知っている事と言えば、ノーベル平和賞受賞者としてマザー・テレサと同じ位置づけ程度のお粗末なものだった。私は戦争を知らない世代だ。1950 年、人民解放軍によるチベット侵攻。民族浄化、僧侶の拷問・処刑、子に親を殺させる、尼僧のレイプ、民族蜂起。ダライ=ラマと 10 万人のチベット人の亡命。更に 1966 年に始まった文革による仏跡の徹底的な破壊、血の粛清。本を読んで吐き気を催したのはフランクルの「夜と霧」以来だった。私が歩いたムスタンでも、1951 年から 1976 年までにゲリラ戦が行われていたと知った。あの、ローマタンの裏山に残る朽ち果てた城壁は戦いの痕だったのではないだろうか？ また、チャルカ・ポート(ツアルカ村)で酔って絡んだヤギ商人が頭に巻いていた赤いリボン飾りは、勇敢で誇り高きカムパ(カムの人という意)族の証しだったのではないだろうか？ そして、東部チベットのそのカム地方こそ、ダライ=ラマ 14 世の生地アムドと共に 100 万人以上のチベット人が命を落とした地だった。ヤギ商人は中共軍に凄惨な殲滅を

加えられた兵士の末裔だったのだろうか？ チェビさんは、おじいさんの代にチベットからネパールへやって来たと話していたが、それも亡命者の一人だったのだろうか？ 今となっては確かめる術もない。私は中国人が嫌いだとチェビさんに話した事がある。すると「私達から見たら、日本人も中国人も韓国人もみな同じ顔をしている。違うのは日本人は余り喋らない事くらいだ。皆、目も鼻も耳も口も同じ数」と言われた。私は、自分の偏見、狭量さに思い至った。チェビさんから中国に関する悪い話を聞いた事がなかった。それはチベット仏教の持つ慈悲・寛容・忍耐からきているのか？ それともチェビさん性来のものなのか？ 現在のチベット人のアイデンティティは蹂躪され続けてはいないか？ 開発の波が押し寄せるネパールに対し私ができる事があるとしたら、それは何だろうか？

GHT は終わった。そして残された沢山の私の無知、不見識は、新たな次の GHT に向かい出している。私の旅行目的はネパール大震災の復興支援だったので、その経費が全国連盟の寄付金額をはるかに上回る額で、





これからも借金返済をしながらの貧乏暮らしが続くのだが、現地で延べ6人の直接雇用を生んだ事は小さな誇りであり、旅行の目的は達成する事が出来た。

また、チェビさんから「NMA(ネパール山岳協会)やネパール政府に、GHTを完踏した日本人のモモちゃんの名前は残るが、ボテの名前は残らない」と言われ愕然とした。GHT アッパー・ルート of 完踏はチェビさんをはじめとした6人のボテがいなければ実現しなかった。私の力ではない。

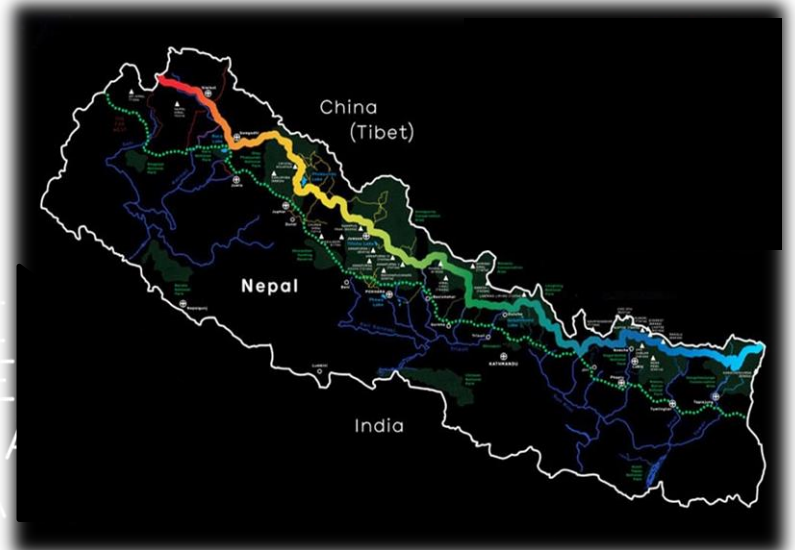
私の手元に 69×98cm の 1 枚の地図がある。GREAT HIMALAYA TRAIL-NEPAL ((NP302 Himalayan Map House)…) アッパー・ルート、ローワー・ルートの標されたネパール全土の地図だ。

モンスーンのイラム・タブレジュンから始まった旅の間、片時も放さず持ち歩いたので端々はスレ、折り目にはあちこちセロテープを貼り、文字も判読出来ないくらいになってしまった。これを、破らないように注意深く開く時は、今でも胸が高鳴る。

薄暗い民家で地図を開くと、どこでも大人も子供も一斉に寄って来て覗き込み、指さし、地図を囲んで離れなかった。何百人のネパール人がこの地図を覗き込んだことだろう。

紙に染み付いたにおいが 134 日を鮮明に思い起こさせる。人生に於いて本当に必要なもの、大切なものは僅かだ。私にはこの一枚の地図だけが残れば良い。私の GHT を面白がり、応援して下さった当会の田上会長、重藤秀世さん、徳永武彦さん、熊大の上村明美さん。精神的な支柱が無ければ、特に part2 は実行出来なかった。部分ではなく、全土を通して歩く事が出来たのは、この四名の方々の御蔭だった。

そして、多くの若い人々にエベレスト街道やアンナプルナだけではなく、それ以外のネパールにも行って欲しい。チベットという言葉にノスタルジーを感じても良い。私は“チベット自治区”には行った事がないが、少なくともネパールに暮らすチベットの民の強烈な生き様に触れる事は、とても楽しい冒険だ。また、ダラムサラに亡命政府がある限り、日本人はチベットと他国との動向に無関心であってはいけないのだと思う。





# おれんじカレンダー

3月			4月			
1	月		1	木		
2	火	火曜岩ハイキング	2	金		
3	水	水曜登山	新型コロナウイルス感染 拡大の為、3月の例会山行 と会議は中止します。 定期トレーニングの火曜 岩ハイキング、水曜登山、 ボルダリング、コンパニ オンレスキューは予定通り 実施します。	3	土	ボルタリング
4	木			4	日	岩屋山～稲佐山(自然保護部)
5	金			5	月	
6	土	ボルダリング		6	火	火曜岩ハイキング
7	日			7	水	水曜登山
8	月		8	木		
9	火	火曜岩ハイキング	9	金		
10	水	水曜登山	10	土	ボルタリング	
11	木		11	日		
12	金		12	月		
13	土	ボルダリング	13	火	火曜岩ハイキング専門部会(西公民)	
14	日		14	水	水曜登山	
15	月		15	木		
16	火	火曜岩ハイキング	16	金		
17	水	水曜登山	17	土	ボルタリング	
18	木		18	日	国見山～八天岳(山行部)	
19	金		19	月		
20	土	ボルダリング	20	火	火曜岩ハイキング	
21	日		21	水	水曜登山	
22	月		22	木		
23	火	火曜岩ハイキング	23	金		
24	水	水曜登山	24	土	コンパニオンレスキュー	
25	木		25	日	目丸山(技術研修部)	
26	金		26	月		
27	土	コンパニオンレスキュー	27	火	火曜岩ハイキング	
28	日		28	水	水曜登山 全体集会(西諫早公民館)	
29	月		29	木		
30	火	火曜岩ハイキング	30	金	猿葉山(ひまわり部)	
31	水	水曜登山				

川原顧問所掌 ➡ 火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合  
 ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	中須賀 孝正
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、松岡正樹、工藤学、林孝子 中野美津子、田中静香、高森陽子、高田啓子
発行年月日	2021/2/28
郵便振込口座	ゆうちょ銀行 17650 30444651 オレンジハイキングクラブ
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>